

平成27年度 第2回小牧市児童館運営委員会会議録

日時	平成28年1月29日 金曜日 10時～11時30分	
場所	市役所本庁舎 6階 601会議室	
参加者	運営委員	永井勝彦、丹羽三枝子、来治英治、宮内真由美、船橋由美、辰川みつゑ、大藪徹也、沖本喜久江、石原佑美、山下美和
	事務局	小塚部長、鍛冶屋次長、須崎課長、長江主幹、平岡課長補佐、児童センター:清水センター長、味岡児童館:杉山館長、篠岡児童館:森川館長、小牧児童館:波多野館長、小牧南児童館:山本館長、北里児童館:水野館長、西部児童館:芦田館長、大城児童館:坪井館長、日比野係長、丹羽
欠席者	運営委員	無
傍聴人	無	
司会	須崎課長	
司会	委員の皆様方には、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。ただ今より、平成27年度第2回小牧市児童館運営委員会を開催させていただきます。 この会議は公開となっておりますが、ただいまのところ傍聴者はございません。	
永井委員長	このような立場になって約1年児童館を見させてもらいましたが、どの児童館も苦労されながらも良い活動をされていると思います。 前回の運営委員会で、少年センターが行う子どもたちへのアンケートにおいて、住んでいる地域の満足度に関する設問で、26年度は89%の満足度を示していたと話しましたが、27年度では満足度が91%になり、10年前と比較すると、12ポイント上昇していました。このような結果となったことは、いろいろな要因があると思いますが、身近にある施設でいろいろな活動ができることが保証されていることは非常に大きいと思います。 今日は委員の皆さんから意見を頂いて、来年度に向けて話し合いたいと思います。	
こども未来部長	昨年「こども夢・チャレンジNo.1都市」を宣言し、本年は地域全体で協力して、こどもの成長などを支え合うまちを実現するため「小牧市地域こども子育て条例」の制定を目指しており、児童館もその一翼を担う立場にあります。本日は、児童館の活動目標をキーワードに、児童館の役割と今後のあり方について、委員の皆様にご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。	
司会	それでは、早速、次第に従いまして報告事項に移らせていただきます。 (1)平成27年度児童館の現状報告について (2)平成27年度児童館利用状況について を一括で報告させていただきます。最初に、児童館の現状報告からお願いします。	
児童センター長	児童センターでは3つの「わ」を大切にしています。 一つ目は「子育て支援で広がる話」です。先日8ヶ月の子どもを連れて保護者が来館され、職員が子どもに「いないいないばあ」をしたら子どもが声を出して喜び、それを見た保護者が「こんな遊びがあるのですか？知らなかつ	

たです」と言われました。子どものあやし方を知らない母親もいて、職員との関りを通じて子どもとの関り方を知ったり、保護者同士の繋がりができるよう働きかけています。また、今年度は2歳児親子対象の英語でリトミックを年9回開催しました。大勢の方に参加いただき、英語への関心が高いことがうかがえました。

二つ目は「健全育成で高めあう我」です。託児ボランティアの方に協力いただき、安心して講座を受けることができます。今年度は「ママの笑顔、元気が子どもには大切」というテーマで4回開催しました。講座を受けて自分を振り返ったり、リフレッシュしてもらい、受講者に満足いただいています。

三つ目は「遊びを通してひびきあう和」です。ゲーム機を持参してくる子どもがいますが、センター内ではゲーム機なしで遊んでもらいたいので、いろいろな遊びを用意して誘っています。今年度はボードゲームを紹介しました。遊び方を覚えれば楽しいので繰り返し遊ぶ姿が見られました。遊びの楽しさや友達と遊ぶ楽しさを知らせています。

四つ目は児童センターが三つの「わ」をつなげる場となることです。子ども達が安心して遊べる場、乳幼児の保護者が気楽に来館できる場となるよう努めてまいります。

味岡児童館

味岡児童館は5つの理念で運営していて、今年度は特に「遊ぶ楽しさを共に体験し友だちの輪を広げよう」ということで活動しました。

「地域ぐるみで育ち合う児童館」ということで年3回地域運営協議会を開催し、地域の方々のご意見をいただき、地域の方々やサポーターの方々と一緒に活動しました。今年度は特に高校生がたくさん協力してくれました。また、地域包括支援センターと「介護」についてイベントを開催しました。

「多世代で育ち合う子育て支援」としては、支援の講座、クラブなどを行いました。土日は父親の来館が多いので、パパ会を開催しました。

「中高生の集い使える児童館」としては、高校生が夜遅くまで学習室で勉強しています。中学生もスタジオや遊戯室で卓球、バトミントンなどをして、ついでに勉強していく姿も見られます。

「多文化共生できる児童館」では、毎週ポルトガル語教室を開いています。参加者は多くありませんが、帰国してから困らないようにと実施しています。

「社会教育を担う児童館」としては、食育、環境・自然愛護の心を育む活動を行っています。今年度は、かまどを使った体験活動を実施しました。今年度もたくさんの方に来館していただき、楽しく活動できましたが、駐車場が狭いので大きな行事ができないことが難点です。

篠岡児童館

篠岡児童館も5つの理念で運営していますが、篠岡の特色は「児童館で遊ぼう・楽しもう」です。

「地域ぐるみで育ち合う児童館」先日も地域運営協議会を開催しました。委員の方からいろいろな意見をいただきました。夏祭りや餅つきでもボランティアの中学生に手伝ってもらいました。桃ヶ丘小学校や篠岡小学校の総合学習の授業で来館され、学校とも連携を図りました。

「多世代で育ち合う子育て支援」については、英語の講座は人気がありすぐに予約が埋まってしまう。また、赤ちゃんサロンでは子育てに悩んでいた保護者の相談に乗るなど支援をしました。

「中高生の集い使える児童館」では、桃陵中学校の卓球部の子どもが卓球をしに来館するのが多くありました。また、桃陵中学校と篠岡中学校の卓球部の対外試合の取り持ちを行いました。篠岡中学校の吹奏楽部のニューイヤーコンサートが好評でした。

「多文化共生できる児童館」については、クイリングという海外の手芸遊びがあり、小学生の女子に人気があります。

小牧児童館	<p>「社会教育を担う児童館」では、地域のサポーターの方がキッチンキッズのお手伝いに来てくれて包丁やアイロンなどの使い方を教えてくれました。中学生が職業人体験で来てくれますが、遊びを手伝ってもらったり、子育て支援室で赤ちゃんと接する機会を与えるなど、積極的に参加できるようにしています。</p> <p>篠岡児童館の特色として、館庭があるので一輪車や竹馬遊びを通じて職員との関わりの温かさが見られます。</p> <p>小牧児童館は開館当初から楽しく過ごしていただける居場所づくり、遊びを通して仲間づくりを目標に取り組んできました。</p> <p>「子育て支援室の充実」では職員が身近な相談相手として、またホッとできる家庭的な雰囲気づくりに心掛けています。</p> <p>同じ悩みを持つママたちが楽しく育児できるよう「集まれ！双子ちゃん」を開催し、遠方からも参加者がありました。</p> <p>「地域との連携」では近隣の保育園の行事に合せ多目的ホールや遊戯室などを利用してもらっています。児童館のハロウィンのイベントでは保育園にも出向いたり、消防訓練では保育園にも声をかけ訓練に参加していただいています。また、保健センターと連携し、育児相談には多くの方がお見えになりました。3地区合同消防訓練も4年目を迎え定着しつつあります。</p> <p>「親子で友達と協力し合う活動」では、新しい試みとして親子で遊ぶ時間を大切にしたいということで、キャンプに行った気分になって夏体験企画を実施しました。ハロウィンでは仮装して近くの公園に行き、ゲームを行いました。</p> <p>愛称“みなくるこまき”の様に「児童館に来ると何か楽しいことが起きる」そんな児童館になるよう頑張っていきたいと思います。</p>
小牧南児童館	<p>南児童館は南部コミュニティに併設されているので、南部地区の方々に多く利用されており、3つの目標をたてて運営しています。</p> <p>一つ目は「季節感」ということで、雛祭り、七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、節分など春夏秋冬を思い出させる行事を開催しています。</p> <p>二つ目は「クラブの充実」で、職員が二人体制で入って、きめ細やかな指導を行っています。集団行動が苦手な方にも寄り添って対応しています。ちびっこ広場では年齢を2つに分けて、年齢に合った活動を行ったり、年中児を対象とした体を動かすイベントを企画し、運動クラブに移行できるようにしています。また、英語、料理、手芸、科学など外部講師を呼んで年に何度か講座を開催しており、特に英語は人気があり乳幼児親子の参加が多く母親が熱心になっている雰囲気があります。</p> <p>三つ目は「地域との連携」ということで、運営協議会の会長が応時中学校の健全育成の関係者でもあるので応時中学校との連携が進んでいます。</p> <p>母親クラブで講座を年4、5回開催し、母親同士の繋がりもできています。</p>
北里児童館	<p>北里児童館は「あそびを通して仲間作りを。地域との繋がりを大切に」を目標に頑張っています。</p> <p>今年度から「お母さん参観日」ということで、児童館での子どもの様子を知らない保護者も見えますので、参観日を設け子どもの成長を見てもらいました。</p> <p>「ふれあえる場の設定」については北里児童館ならではの「こどもだって忘年会」を開催し、こどもに大変好評でした。</p> <p>「子育て支援」としては専任の支援員がいますので、安心して来館いただいています。些細な事でも相談されることも多くなっています。支援員自身の子育て経験や小牧市の研修、小学館集英社プロダクションの研修で学ん</p>

だことが生かされていると思います。

「地域連携」では、北里小学校の「さとのこ学級」北里中学校区の「このゆびとまれ」という行事に児童館職員が講師として参加しました。地域との関りが来館に繋がり良い関係ができています。また、学校で児童館職員と出会うということが子どもたちにとって面白かった様です。

母親クラブが活動的で児童館の職員と共に行事のアピールなどを行っています。ピアノの寄附がありましたので、今年度からピアノを使っています。1月31日には寄贈された方を招待してピアノお披露目会を予定しています。

クラブ、自由参加教室では年少、年中、年長、小学生とすべての歳児で教室が整い、中高生に対しても遊べるよう工夫して、中高生を認め、認められる嬉しさから小さい子どもに手助けをして関りを大事にできる場にしたいと思います。

西部児童館

西部児童館では「来た人が笑顔になれる場所」という方針で、職員が常に業務を振り返りながら運営してきました。

コミュニティセンターの複合施設として10周年を迎え、職員、運営協議会の方々をはじめ、様々な方と取り組みを行っています。

「子育て支援」としては、レイアウトの変更を行い、明るい空間となりました。利用者が支援室で落ち着いて活動できると好評をいただいています。また、初めて来館された方には職員から積極的な声掛けを行い、職員間でも情報の共有を図っています。新しい取り組みとして今年からお誕生日会を毎月1回開催することとしましたが、初回は参加者0人でした。しかし、徐々に参加者が増え、定着してきています。

日常的な遊び以外にもクラブ活動や七夕、お月見、ハロウィン、クリスマス会、春秋の親子運動会などの季節の行事の取組みを行っています。全年齢対象のものから、0～3歳児までの行事では30組、多いときには50組ぐらい参加者が見えます。今年度好評だった活動については、次年度も引き続き実施していきたいと思います。

芝生広場や畑をコミュニティセンターと合同で活用することが西部ならではの感じています。夏の日よけとして瓢箪を栽培し、猿のクラフトを作ったり、さいまいもを栽培して、つるでリースを作るなど季節を通して継続的に子ども達が体験できるように心掛けています。

複合施設であることから、コミュニティセンターや運営協議会と合同で夏祭り、ハロウィン、ニューイヤーフエスタなどのイベントを年数回開催しています。職員だけでなく、地域の方々も数多く参加いただき、盛大に実施しています。児童館単独で運営協議会やボランティアの方々や敬老の日のイベント、節分などいくつかのイベントで関りを持っています。

ブログで随時情報発信していますので、これも継続して実施していきたいと思います。

日常的に「西部らしさ」ということを意識しており、今後もさらに西部らしさを強調できるようにしてまいります。

大城児童館

大城児童館は5つの理念で運営してまいりました。

12月までの利用者が過去7年で一番多くなっており、小牧市が子育てについて充実していることが伝わって、児童館に来館された方が増えた様感じます。

「地域ぐるみでの運営」では当初から地域運営協議会を設置し、運営内容や今後のことを調整しています。このような場で人の紹介もあって、顔の見える関係作りに心がけ、祭事の際には協力いただけます。学校や地域コーディネーターとも良い関係が築けています。

子育てを軸とした支えあいのネットワークが信頼に繋がりながら、子ども達

	<p>の成長を見守っている状況です。</p> <p>「多世代での子育て支援」については、ここ数年父親の参加が増えており、日によっては母親より父親の参加が多いときがあります。平日の夕方はおじいちゃん、おばあちゃんと来館することが多く見られます。</p> <p>支援員の研修や助産師を紹介してもらい相談サロンを展開したり、ストレスをためる前に相談してもらえる対応ができるようになってきています。</p> <p>講座では産後ヨガを開催して、好評をいただきました。また、今年度から幼児対象の英語講座が始まり、地域の方から講師を紹介していただきました。</p> <p>「中高生の居場所」としては、8月ぐらいから高校生の利用が増えてきました。</p> <p>「多文化共生」では日系ブラジルの方は減り気味ですが、児童館と関りのある方は上手く利用していただけています。最近是中国の方の利用が増えています。</p> <p>「社会教育の展開」ではクリスマスコンサートでは中学校の吹奏楽部と一緒に演奏会を開催しました。</p> <p>子育てや子どもの縁を軸に支えあいのネットワークができていると思います。</p>
児童センター長	<p>(資料2)</p> <p>続いて平成27年度の利用状況について報告します。</p> <p>全体の一日の平均来館者数は、やや増加しています。子ども達の遊びの内容が変わりゲーム機で遊ぶ子どもが多くなっていますが、各館で遊びに来やすい工夫をし、昨年と変わらない人数の小学生が来館しています。</p> <p>年齢全体の割合からすると高校生の利用は少ないですが、学習室の有る児童館では増加している館もあります。全体的には昨年とあまり変化はありません。</p>
司会	<p>ただ今、平成27年度児童館現状報告についてと、平成27年度児童館利用状況について説明がありました。これについて、ご意見、ご質問はありませんか？</p> <p>ご意見、ご質問もないようですので、次に移らせていただきます。</p> <p>(3) 児童館利用者アンケートについて事務局から説明します。</p>
担当	<p>(資料3)</p> <p>指定管理者制度を導入しています児童館においては、年2回のモニタリングを義務付けておりますが、全館共通様式を使用したアンケートによるモニタリングを年1回実施することで、各館利用者の満足度を比較することができ、児童館運営の質の向上に努めることを目的に実施しております。</p> <p>アンケートは、児童館を利用する児童及び保護者を対象として、小学生、中学生以上、保護者の区分に分けて、平成27年10月15日から11月14日までの期間で、市内全8館で実施いたしました。</p> <p>総評といたしましては、小学生アンケートでは昨年と比べて大きく変わらず、質問1では9割以上のお子さんから児童館は楽しいという回答をいただきました。</p> <p>中学生以上のアンケートでは「児童館の施設は利用しやすいですか？」という質問では「はい」と答えた子が昨年度より減少したものの、他の質問では昨年度より良い結果となりました。</p> <p>保護者用のアンケートでも多くの方々から満足していただけていますが、「ぬいぐるみがきれいかどうか分からない」など、おもちゃの衛生管理を心配する意見がありました。</p> <p>「児童館を利用して思うことを記入してください。」という質問に対して</p>

	<p>は、非常に多くの自由意見をいただきました。児童館に対する良い意見が多く、「あなたにとって児童館はどんな場所ですか?」と重なる意見が多いことや、アンケート結果の数字からも児童館に対する高い満足度がうかがえるため、「児童館を利用して思うこと」には、よい意見ではなく、苦情・要望等のみを載せています。</p> <p>これらの意見を今後の児童館運営の参考にしていき、取り入れられるものは積極的に取り入れていきたいと考えています。</p>
司会	<p>ただ今、児童館利用者アンケートについて説明がありましたが、これについて、ご意見、ご質問はありませんか?</p>
委員長	<p>アンケートで良い意見が少ないという印象でしたが、意図的に苦情要望を載せているということですが、各館の報告をお聞きして、工夫のある取り組みをしているので、高い満足度となっているのだと思いました。</p>
司会	<p>それでは、ご意見、ご質問もないようですので、次の議事に移らせていただきます。議事の進行は、永井委員長にお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
永井委員長	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>(1)平成28年度小牧市児童館活動方針・活動目標(案)について事務局説明をお願いします。</p>
児童センター長	<p>(資料4)</p> <p>児童センター及び児童館7館は、資料4のとおり活動方針、「目指す子ども像」、活動目標をもとに日々運営しています。地域の遊び場としての健全育成、子育て家庭の支援に努め、市民に親しまれる児童館を目指しています。</p> <p>平成28年度市子ども会連絡協議会との連携事業案については、こども政策課、児童館、小牧市子ども会連絡協議会が主催で毎年行っています。勤労センター全部が遊び場となり、大勢の子どもたち、親子連れで一日中賑わいます。このこまキッズフェスタに向け、全館で企画準備を取組むことで、各館の繋がりを深めるものと思っています。</p>
永井委員長	<p>ただ今、平成28年度児童館活動方針・活動目標(案)について説明がありましたが、ご意見、ご質問はありませんか?</p>
丹羽副委員長	<p>こまキッズフェスタについて、去年わずかな時間でしたが、参加してきました。親子がいい笑顔で、いきいきのびのびと参加していました。職員の方も安全などいろいろな事に配慮して良い雰囲気だと感じました。</p> <p>職員が一丸となって頑張ってきたことが第三者にも伝わってきて、今後も続けてもらって、小牧に住んで良かったと思ってもらえる親子が増えたら良いと思いました。</p>
大藪委員	<p>児童館の利用について、小学生が一番多いのかと思っていましたが、幼児の利用が多くて、その次に小学生が多く、中学生や高校生の利用も多いことが分かりました。子どもが活躍する受け皿が学校以外にもそれぞれの地域にあるのだなあと改めて驚きました。</p> <p>また、すべての児童館で子育て支援として保護者の受け皿にもなっていて、様々な活動をしていてこれだけ努力をしていることを知りませんでした。</p> <p>平成28年度児童館活動方針・活動目標案で今後も続けていかれるということとで応援していきたいと思います。</p>

	<p>自分が小学校に勤務していますので、どんな子が児童館に通っているのか情報をいただくとありがたいです。去年は味岡児童館の館長が学校サポーターとして来ていただき、情報交換ができていましたが、地域運営協議会で学校職員が委員として参加している児童館もある様ですので、すべての小学校に呼びかけてもらって、そのような会に参加できるといいと思いました。</p>
味岡児童館	<p>味岡児童館は、一色小、本庄小、味岡小、岩崎中、味岡中を包括して運営しています。小学校については、校区外へ出るということが難しいですが、近くの子どもは元気に来てくれます。情報については、時々学校へ行ってお話ししたいと思います。一人で来館した親が、小さい子ども2、3人をずっと面倒みることは難しいと思いますが、そういう時には小学生、中学生が小さい子どもと遊んであげるといった状況が味岡児童館では見られました。そういう子がたくさんいることを嬉しく思います。</p>
児童センター長	<p>児童館から学校へ連絡するときは、あまりいいことではない場合が多いですが、日々学校と児童センター、児童館との垣根が低くなり、普通の子どもの情報交換や学校の行事に参加するなどして、子どもと交流していきたいと思いました。</p>
沖本委員	<p>南部地区に住んでいますので、南部コミュニティを利用させていただいていますが、若いお母さん方の利用が多くて、いい場所があつていいなあと思つてみえています。また、寒くなつても館内が暖かいのでたくさんの子どもが勉強に来ているので良い場所だなと思つています。</p>
石原委員	<p>今年度は北里小学校の母親代表としてPTA活動をしています。3校PTAの健全育成委員会という場で北里児童館の館長とお会いしたときに「講座があれば協力しますよ」と言われて、ちょうど何をしてよいのか分からなかった。その言葉に甘えて3、4回学校の講座に児童館の先生に講師としてきていただきました。小学校、中学校、児童館と地域で連携した子育てができる環境に繋がっていると感じました。 とてもいい機会となったので、来年度以降も引き継いでいきたいです。</p>
山下委員	<p>南部コミュニティによく行くのですが、いつも子どもがいっぱい居て、子どもが集まって遊ぶ場所がないので、こういう場所があるのはいいと思います。行くことによって、違う年齢の子どもとも触れ合うことができるので、このまま気軽に行ける児童館であつて欲しいと思います。</p>
辰川委員	<p>三ツ淵小学校の主任児童委員をさせていただいています。西部児童館ができるまでは児童センターまで行かなければなりません。児童館が遠い方からもっと近くにあつたらいいなという声をお聞きしますので、新しい館を作るのは難しいと思いますが、すこしずつ増えていくといいなと思つていました。</p>
船橋委員	<p>桃花台に住んでいますが、この地域では昔ながらのお祭りや餅つきなどを親世代でも知らないという方が多いので、児童館で季節のいろいろな行事の取組みがあつて、そこで学べるということは良いことだと思つていました。</p>
宮内委員	<p>味岡中学校区の主任児童委員をしています。味岡地区は地縁が深く、その地域にある児童館ということで地域の方が盛り上げています。 質問ですが、現在小学校の児童クラブの対象年齢が上がってきていますが、それに伴い、児童館を利用する小学生は減っているのでしょうか？</p>

	<p>また、ジュニア奉仕団の世話人をさせていただいており、ジュニア奉仕団の子ども達がボランティアで児童館へ行くことがあります。児童館の先生からお褒めの言葉はいただきますが、実際もっとうして欲しいとか、ここが困っているということがあれば教えてください。</p>
味岡児童館	<p>小学生の様子を見ると、寒くなってから、去年より帰る時間が遅くなったのか、児童館から離れた所に住んでいる子の来館は減ったように感じます。小学生の来館者数は中高生の来館者数に比べると停滞ぎみです。奉仕団については、ボランティアで来てくれる子に困ったことはありません。奉仕団の活動が終わった後も、小さい子の世話をしてくれたりする子もいます。これからも奉仕団との繋がりは続けていきたいと思えます。</p>
小牧南児童館	<p>主にイベントのときに来てもらってます。今年から高校生のボランティアも募って一緒に活動してもらっていて、本当に感謝しています。</p>
来治委員	<p>小牧原小学校の主任児童委員をさせてもらっています。昔は自分の子どもが小牧児童館にお世話になっていてよく迎えに行った記憶があります。現状報告を聞いていた中で、昔は友達と集まって遊ぶ場であったと思いますが、現在はいろいろなイベントが開催されて楽しい場所を提供していただいているのだなと思いました。今度、小牧児童館で開催されるイベントに参加する予定ですので、お手伝いできることがあれば声を掛けてください。</p>
小牧児童館	<p>初めての試みで「地域交流会」というものを開きます。第1回目ということで、児童館や子どもの様子をお伝えしたいと思いますので、よろしく願います。</p>
永井委員長	<p>委員の皆さんから意見をいただきましたが、平成28年度児童館活動方針・活動目標（案）について承認いただけますでしょうか？ （異議なし） 承認いただけただけで原案のとおり承認します。次に、（2）平成28年度児童館クラブ活動・行事計画（案）について事務局説明をお願いします。</p>
児童センター長	<p>（資料5-1） 幼児、児童を対象に児童館で行うクラブや講座、工作などについての計画です。内容は昨年と同じです。全児童館で対象年齢に合わせて英語に親しむプログラムを計画しています。発達支援リトミックについては、資料を作成した時点と変更が生じ、3館で年9回実施する予定です。幼児、小学生と時間を分け、親子で体を動かしながらスキンシップを深めていただきます。 （資料5-2） 児童館の主な行事予定については、家庭で季節的な行事を行わなくなっているため、各館で季節を感じられる行事や伝統的な行事を取り入れていきます。それぞれの館の特徴を生かしながら計画しています。</p>
永井委員長	<p>ただ今、説明いただいた計画案について、ご意見、ご質問はありませんか。</p>
味岡児童館	<p>児童館クラブ活動や行事関係について、3月のスプリングフェスティバルは子ども達中心で企画してもらっていますので、お楽しみ会という様な形で実施したいと思っていますので、訂正をお願いします。</p>
永井委員長	<p>ご意見、ご質問もないようですので計画案のとおり承認されたこととします。次に、（3）平成28年度児童館の子育て支援（案）について事務局説明をお</p>

<p>児童センター長</p>	<p>願います。</p> <p>(資料6) 未就園児を対象とした事業で、乳幼児支援のニーズが高まっており、児童館では親子で遊べる場、保護者同士の繋がりが広がる場としていろいろな事を行っています。資料で記載したことを各児童館で計画しており、各館の子育て支援室では親子がゆったり過ごしてもらい、保護者がリフレッシュできる場となっています。</p> <p>27年度は支援室職員の研修を4回行い、資質向上やスキルアップを図りました。笑顔で元気に子育てができるよう保護者を応援していきたいと思っています。</p>
<p>永井委員長</p>	<p>何かご質問はありませんか？</p> <p>各館で工夫されていて感心します。昔は子どもたちだけで遊んでいましたが、今はいろいろな遊びなどを提供しているということですが、子ども達が自分で遊びを考えることが本来の姿ではないかなと思います。これも時代の流れなのかなと思いました。</p> <p>今の子ども達は、いろいろな電化製品でボタンを押せば、自動的にできてしまう環境にありますが、かまどを使った行事が組まれていて、本来はいろいろなプロセスがあるということを学ぶことができ、とても大事なことなので、手間のかかるイベントを大事にしていきたいと思いました。</p> <p>平成28年度児童館の子育て支援（案）について異議がないということで原案どおり承認されました。</p> <p>本会に提出されました議題につきましては、すべて承認ということになりましたので、進行を司会にお返しします。</p>
<p>司会</p>	<p>委員の皆様、速やかな議事の進行にご協力ありがとうございました。</p> <p>小牧児童館の補足説明ですが、以前の小牧児童館は第一保育園の跡地で館庭がありました。今館庭があるのは味岡、篠岡だけですので、他の児童館では室内で遊べるように工夫していますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。</p> <p>また、味岡児童館、北里児童館について、平成28年3月31日をもって指定管理委託が完了するのに伴い、今年度、児童館指定管理者選定委員会で指定管理者を選定しました。</p> <p>その結果、平成28年4月1日から味岡児童館は特定非営利活動団体10人村に、北里児童館は株式会社 小学館集英社プロダクションに引き続き指定管理委託することとなりましたのでご報告させていただきます。</p> <p>その他全体を通してご質問等はございませんか？</p> <p>特にご質問等もないようですので、以上で本日の議題は全て終了させていただきます。</p> <p>これもちまして、平成27年度第2回小牧市児童館運営委員会を閉じさせていただきます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>